

三井物産環境基金 2015年度 活動助成 助成案件一覧

対象課題	団体名	代表者	案件名	案件概要	助成期間	申請金額 (千円)
地球環境	バイオマス産業社会ネットワーク	理事長 泊 みゆき	固体バイオマスの持続可能性確保に関する調査研究・啓発活動	日本の木質バイオマス発電事業では、今後2,400万～8,000万m ³ という膨大な木材等が利用され、大半は輸入で賄われると見込まれる。現地調査等の調査研究、毎年の政策提言、シンポジウム開催、サイト・冊子・資料映像などを通じ、関係者や広く社会へ向けた啓発活動を行い、固体バイオマスの持続可能性を確保する制度等の実施を促し、それによって東南アジア等の生産地での負のインパクトを回避することを目的とする。	3年	¥10,000
資源循環	ハッピーステップス	代表理事 新井 玲子	中古石鹼の循環を基盤とした共生社会の創出	これまで産業廃棄物として埋め立てていた石鹼ゴミの廃棄量を削減する。具体的には、ホテル客室から出される年間280トンの中古石鹼、及びメーカーの製造過程で出るくず石鹼を福祉作業所にて再加工のうえ、児童福祉施設や途上国の貧困層等に寄付することで再利用を図る。そのために、ホテルやメーカーなどと連携し循環の仕組みを構築することで、環境保全に寄与するとともに、社会全体の意識の改善を図る。	3年	¥5,000
資源循環	SAVE IWATE	スタッフ 小笠原 魂美	河川の厄介者オニグルミ、植林地の厄介者ヤマブドウを活用した高齢被災者のための籠細工	防災管理や林業の厄介者となっているオニグルミとヤマブドウを活用した籠細工を、東日本大震災で被災した高齢者の方々の手仕事として収入支援につなげる。原材料の安定確保のため採取場所の管理者との関係を構築した上で、加工するための基盤整備と商品の販売先確保を行う。厄介者を取り除きながら、それを原材料資源として持続的に活用することで、人と自然の良好な関係を生み出す。	3年	¥3,990
資源循環	ふくしま再生の会	理事長 田尾 陽一	福島県飯舘村の森林資源の活用を通じた生活の再生	飯舘村の75%は森林であり、森林再生は地域の最重要課題である。本活動では、飯舘村の森林の全体状況と樹木内部の放射能汚染状況を長期的視点で調査・計測する。さらに、樹木を切り出し製材して実験ハウスを建設し、室内放射線量等を計測・解析し建材化の可能性を探り、製材端材や間伐材等のバイオ燃料化の可能性を探る。その結果、飯舘村地産の森林材の活用方法を検討し、地域産業の再生の道を切り拓く。	3年	¥14,000
生態系・共生社会	地球・人間環境フォーラム	専務理事 平野 喬	野生動物の皮革活用と地域活性化を目指すマタギプロジェクトの推進	改正鳥獣保護法の施行により、今後シカやイノシシの毛皮が大量に廃棄されることを見越し、地方で産出される野生獣の皮革を有効活用するための技術や仕組みの確立と市場開拓を行う。皮はぎや伝統的な皮のなめしの技術を講習会等を通じ広く普及させ、皮の安定供給、高付加価値な皮革製品の製造を進め、自然資源の有効活用による地域経済の活性化と皮革産業の復活を図る。	3年	¥9,477
生態系・共生社会	京都大学 アフリカ地域研究資料センター	准教授 大山 修一	西アフリカ・サヘル地域における都市の有機性廃棄物と家畜を利用した緑化活動	西アフリカのニジェール共和国において、都市の有機性廃棄物を投入して草地を造成し、その草地で放牧する家畜の糞から発芽する樹木によって緑化を進める。現地では農耕地の拡大により放牧地が縮小しており、土地問題が深刻である。この活動により、自然環境の修復と砂漠化問題の解決、農村部における食料自給の達成、多数派の農耕民と少数派の牧畜民のあいだの紛争の予防、そして地域の安定化をめざす。	3年	¥22,590
生態系・共生社会	日本モンキーセンター	部長 木村 直人	コンゴ民主共和国の稀少大型類人猿ポノボ保全のための感染症モニタリングと普及啓発活動	コンゴ民主共和国のマレボ地区に生息する、希少な大型類人猿ポノボの感染症罹患状況に関する調査を行い、ポノボの保全に向けたデータを収集し、健康状態をモニタリングする。その成果を基に地域住民に対して感染症に関する啓発活動を行うと共に、ポノボと自然環境への住民の理解を深める。そして現地NPOにより計画が進められているエコツーリズムを、人とポノボ双方にとって安全に実施するための基盤整備に貢献する。	3年	¥13,998

対象課題	団体名	代表者	案件名	案件概要	助成期間	申請金額 (千円)
生態系・共生社会	エゾシカ協会	理事、シカ捕獲認証委員会委員長 赤坂 猛	10年後のニホンジカ管理を担う人材育成の取り組み	10年後のニホンジカ管理の体制構築を見据え、シカの個体数管理に効果的な捕獲に求められる知識と技能を得るカリキュラムを設定し、体系的な人材育成プログラムの提供と、適切な技能を持つ人材を客観的に評価できる仕組みを作る。これを普及させるため、特別講座の開催や、受講者間のネットワークを構築し、地域主体のシカ管理を実践できるようフォローアップする。北海道をモデルとしてスタートさせ、全国に展開させるための道筋を作る。	3年	¥9,800
生態系・共生社会	Turkish Marine Environment Protection Association	Executive Vice President MİNE GÖKNAR	SUSTAINABILITY OF TURKISH STRAIT SYSTEM 黒海とエーゲ海を繋ぐ二つの海峡の持続可能性に関する地域社会取組	ダーダネルス海峡(別名チャナッカレ海峡)周辺の生態系保全を目的とし、船長、漁業協同組合、観光当局や地方自治体等、及び大学生を主な対象に、講習会、アートイベント、ワークショップ、映像作製等を通じて、生態系に関する認識の向上を図り、海洋生物の保全と安定した生活に向けて相互に協力する自発的な活動の基盤を構築する。そして、ダーダネルス海峡の人々を通じて、当プロジェクトで培った知識を国内に広める。	3年	¥20,000
生態系・共生社会	Association Ibn Al Baytar	President Zoubida CHARROUF	Sustainable development of Messguina argan forest Messguina アルガン樹林の持続可能な開発	モロッコ南西部に自生する遺産的な樹木であり、絶滅の危機にあるアルガンについて、樹林再生(植樹と木々の剪定)、地域社会における価値認識の向上、付加価値となるオイルの生産支援を行う。さらに、地元住民にアルガンの重要性について認識を高めるワークショップを実施する。また、種の取り方や植樹についての実践的なワークショップや研修プログラムを提供することで、アルガンオイルを生産する協同組合の女性労働者を支援する。	2年	¥6,988
人間と社会のつながり	上智大学地球環境研究所	所員 (大学院地球環境学研究科教授) 織 朱實	若者たちによる熟慮と対話の場の創設—30年後のエネルギー選択—	大学、研究機関、NPO等との連携で「次世代エネルギーワークショップ(WS)」を開催する。WSでは、未来を担う大学生等が、社会選択の重要な因子としてエネルギー問題を理解して、自分の選択をすることを目的に、エネルギーの基礎知識を学び、専門家や多様な価値観・意見をもつ同世代間で議論を交わす。併せて、この手法が全国の大学、地域に普及するよう、開催支援、方法論の確立、支援ツール開発・提案を行う。	3年	¥8,999
人間と社会のつながり	いけま福祉支援センター	職員 三輪 大介	よみがえりの種プロジェクト	海洋資源の劣化と過疎高齢化が進行する沖縄県の池間島において、歴史的に島を守ってきた海岸林等の植生や景観について、資源管理思想・技術の聞き取りや実地調査を通じてその意味を問い直す。そして、これらを回復するため、在来樹種を自ら生産するコミュニティ・ビジネス・モデルを構築し、高齢者や生活弱者の生活支援にもつなげる。さらに、島の自治的なルール(シマ憲章)を策定することで、かつての豊かな海と暮らしを取り戻す。	3年	¥8,000
人間と社会のつながり	日本環境教育フォーラム	農村環境計画エキスパート 佐藤 秀樹	バングラデシュ・クルナ市のウェスト・ピッカー(廃棄物回収人)を対象とした地域社会内廃棄物管理改善プロジェクト～南アジアにおける社会配慮的視点から環境共生型社会の構築を目指して	ウェスト・ピッカー(廃棄物回収人)による廃棄物管理の社会配慮面を考慮し、ウェスト・ピッカーの社会的認知度の向上、彼らを含めた地域社会内廃棄物管理への地域住民の積極的な参加、地域内における廃棄物管理に関わる環境教育の推進、ウェスト・ピッカーの有価廃棄物実証事業を通して、クルナ市において行政、ウェスト・ピッカーや住民の協働により、地域社会内の廃棄物管理を改善するためのモデルケース構築を目指す。	3年	¥7,200
人間と社会のつながり	Seed to Table ~ひと・しぜん・くらしつながる~	理事長 伊能 まゆ	ベトナム・メコンデルタにおける様々なステークホルダーの協働による環境保全型地域づくり	農薬等の使用による環境汚染や農家等の道徳の欠如によって食の安全が揺らいでいるメコンデルタのベンチェ省にて有機農業を推進し、行政、学校、流通業者等が協働で作り手の「顔」が見える生産管理・流通システムを構築する。さらに、ホーチミン市やベンチェ町の消費者や学校の教員・父母会等へ有機野菜を販売すると共に交流会等を通じて人々の環境問題等に対する理解を促し、環境保全型の持続的な地域発展に繋げていくことを目指す。	3年	¥8,600

対象課題	団体名	代表者	案件名	案件概要	助成期間	申請金額 (千円)
人間と社会のつながり	暮らしと耐震協議会	理事長 木谷 正道	<囲碁のまち大船渡 >による復興と碁石 海岸の環境保全	復興需要の一段落による建設関係者やボランティアの減少と復興事業の地元負担増という困難に直面する大船渡で、「囲碁まつり」を開催し「囲碁のまち大船渡」を全国に発信する。さらに、碁石海岸の環境保全のため、碁石地区環境保全会議を設置し、環境保全方策の提言を行う。これにより、大船渡の知名度の向上、遠距離感の解消、碁石浜と周辺の環境保全を実現し、観光を柱とした復興と振興の大きなステップとする。	2年	¥6,000

合計 : 15件

154,642千円